

## 予算管理（計画と統制）

---

27 損益分岐点売上高は、Xを限界利益率で除して求める。Xに該当するものはどれか。

- a) 変動費
- b) 固定費
- c) 準変動費
- d) 準固定費

28 損益分岐点売上数量は、固定費をXで割って求める。Xに該当するものはどれか。

- a) 限界利益率
- b) 1個当たり限界利益
- c) 限界利益
- d) 売上高

---

11 原価 11.1 CVP分析 正解：b

CVP分析（Cost Volume Profit Analysis）は、損益分岐点分析とも呼ばれる。営業利益がゼロとなる損益分岐点になる売上高を求めるための分析である。売上高ベースの損益分岐点は、固定費を限界利益率（100%から変動費率を控除した比率）で除して求める。

したがって、正解は（b）となる。

---

11 原価 11.1 CVP分析 正解：b

損益分岐点売上数量は、「固定費」÷「1個当たりの限界利益」で求められる。したがって、正解は（b）となる。